



18_3D寸法線

ツールの呼び出し方

メニューバーからSCP→SCPランチャーを立ち上げ、「3D寸法線」のアイコンを選択します



3D寸法線のアイコンを選択します

作成方法

部材を選択し各項目を設定後、寸法を計測する位置をクリックします




1 文字の高さを設定します

2 小数点以下の桁数を選択します

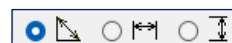
3 作成タイプを選択します

4 配置するレイヤーを選択します

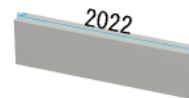
5  をクリック後寸法を計測する位置をクリックします

< 作成タイプについて >

斜め寸法



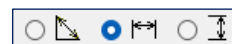
▶ 3D



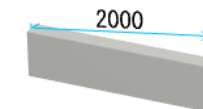
▶ 2D



水平寸法



▶ 3D



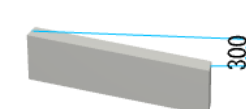
▶ 2D



垂直寸法



▶ 3D



▶ 2D

表示なし

6 ☒ を入れると、平面図で表示されます

7 現在の視点に合わせた表示の回転（3Dのみ）
 クリックすると、3D上で現在の視点に合わせて表示が回転します

※寸法オブジェクトは、単独のオブジェクトです作成時に参照した部材を修正しても、追従しません



3D寸法線の形状変更

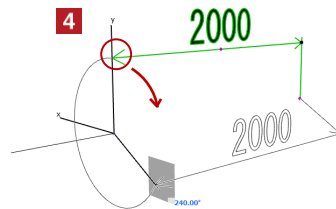
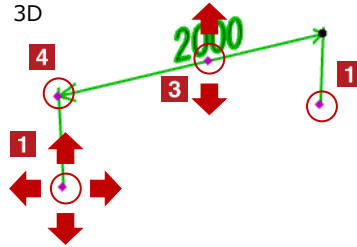
Hotspotをクリックすると、寸法線の長さや引き出し線の位置などの変更が可能です

赤のHotspotをクリック→パレットの「頂点を移動」で、3D寸法線の引き出し線などの変更が可能です
黒のHotspotをクリック→パレットの「移動」で、3D寸法線の移動が可能です

▶ 2D



▶ 3D



- 1 寸法線の長さ変更
- 2 引き出し線の位置変更 (2D)
- 3 引き出し線の位置変更 (3D)
- 4 寸法線の回転

オブジェクトの設定

配置した3D寸法線を選択し、「オブジェクトの設定画面 (Ctrl+T)」で各種設定を変更します



- 1 作成タイプの切替
[形式固定]の ☒ を外すと変更できます
- 2 小数点以下桁数の設定
- 3 区切りコンマの表示切替
- 4 寸法値の高さ設定
- 5 寸法値の上下位置変更
- 6 寸法線の矢印のサイズ設定
- 7 平面図での表示切替
- 8 2D画面上の寸法の描画色設定
- 9 寸法値の表示色設定